



おおとりっ子 No.11

平成29年1月11日発行

「問いかけ」

3学期が始まりました。今年は酉年、「おおとりっ子」が活躍する年ですね。とても楽しみにしています。さて、始業式で以下の内容について話をさせていただきました。

(原稿を元に紹介しますので、少し実際のお話通りとはいいません。)

○ 今年は「おおとりっ子」の一層の活躍の年

今年初めに、自分はこうなりたいとか、今年はこんな年にしたいと考えたことと思います。目標をもって進むことはとても大切なこと。そのためにも「なぜ?」「どうして?」「何のために?」と問いかけ、調べたり挑戦したりして欲しい。

○ なぜ、正月というのでしょうか。

正月の正というのは正しいと書きますね

正の意味を調べると

一(城)に向かって進軍(足)していくという意味だそうです。

悪い人が集まった城に向かって攻めていき、みんなのためのことを考え、行動する正しい城に直すということです。

つまり正すわけですね。

正月は、ものごとを正す、見直す、新しいことを始めるいい時期だということなのですね。

○ なぜ睦月ともいうのでしょうか。

1月のことを睦月(むつき)ともいいます。

どうして睦月というと思いますか。

睦月の睦は仲睦まじくの睦です。

1年の初めに、みんなが集まってわいわいと仲良く過ごすということらしいです。

みなさんは今日、久しぶりに友達と会えてどうでしょう。

友達と一緒に勉強したり、何かに取り組んだり、遊んだり、けんかしたり、仲直りしたり、そうすることによって人間としての成長の基本ができあがります。1月はその始めの月。なかなか仲間に入れないとか、楽しくないってことはありますか?もし、そんな人がいたら、それをどう解決していくか一緒に考えていきましょう。

人と人が仲良く助け合ってこそ人間らしく生きる力がわいてきます。是非、一緒に仲睦まじく過ごせると良いですね。

○ では、英語では何というのでしょうか。

January (ジャニウアリー) といいますね。

実は、これにも意味があります。

古代ローマの神様でヤヌスという神様のことをさしています。

「ヤヌス (ヤヌス Janus) は、ローマ神話の出入り口と扉の神。前後 2 つの顔を持つのが特徴である。表現上、左右に別々の顔を持つように描く場合もある。一年の終わりと始まりの境界に位置し、1 月を司る神である。」

とありました。

このように、何気なく使っている言葉だけでも、問いかけし、調べてみるといろんな事が分かって楽しくなりますね。また、他の月はどうだろう。自分の誕生月は？ 普段、他にも生活で使っているものにどんな意味があるのだろうか。など新しい疑問や興味もわいてきます。

ただ、何気なく過ごし、誰かに言われたことだけしている毎日と、「あれ？ どうしてかな？」 「いったいどうなっているんだろう？」 「どうしたら、できるようになるんだろう」 などと調べたり確かめたり、挑戦したりしてみる日々。みなさんはどちらを選びますか。

一人では無理なことでも友達や先生、家族と一緒になら、いろんなことに挑戦できます。脳みそと体、そして心をしっかりと鍛えて楽しく生きる人になってもらいたいと思っています。

「唱える」

お話はこれで終わりましたが、ここで、続きがあります。睦月、如月、弥生・・・というのは意味も分からずよく、子供の頃唱えていたことで、今でも言えるということがありますね。

例えば、春の七草

「せり、なずな、ごぎょう、はこべら、ほとけのぎ、すずな、すずしろ、これぞ七草」

また、干支は

「ね、うし、とら、う、たつ、み、うま、ひつじ、さる、とり、いぬ、い」

大の月、小の月を覚えるのには

「に、し、む、く、さむらい (2、4、6、9、11)」

この他にもかけ算九九や大きな位の数字、円周率、時代区分、 $\sqrt{2}$ や $\sqrt{3}$ 、日本唱歌など意味も分からずに覚え、いつのまにか空覚えしていることがありました。これらは、学校だけでなく友達や家族と一緒に唱えていたものもあります。それを、日々の生活や学習に生かしていたのです。

唱えるという字を見てみると、「日口口→日々口にする」というようにも見えます。この日々続けることが自分の成長に役立ち、知識を増やす基本になっていると思います。日常生活を規則正しく過ごし、自分の目標に向かって続けて行う粘り強さが一番大切なことかも知れませんね。

是非、ご家庭でも昔から伝えられてきたことや新しい事柄を気軽に楽しく唱え、知識を増やしたりきれいな日本語にふれたりできるといいですね。

「今年もよろしくお祈いします」

